

今、森の豊かさが起きている

「ナラ枯れ・松くい被害対策から見直す、持続可能な地域の森の育て方」講習会



ナラ枯れの発生状況 (赤褐色に変色)

最近、町内の森の所々に出現している茶色く枯れた木にお気づきでしょうか? 「ナラ枯れ」という病気にかかって枯れてしまった樹木です。虫が入って樹液道が塞がったことが原因と言われています。しかし、なぜ最近になって広がっているのでしょうか?

この問題に対して、根本的な原因を問いかける「土中環境」という視点があります。人間の生活環境によって、「土の中の水の流れ」が遮断されたことが原因で、樹木が健全に育たなくなっているというものです。これは単に森だけでなく、町の環境全体にも関わることです。

将来に豊かな森や自然を残していくために、講師をお招きし、根本的な対処を学ぶための講習会(講演会+現場実習)を開催します。

《講演会》

▼講師 高田 宏臣氏 (NPO 法人地球守代表理事)

▼とき 7月10日(土) 10時~ 正午

▼ところ 保健センター2階 研修室

▼とき 同日13時30分~16時30分

▼ところ 大磯運動公園(現地 集合)

【参加申込】

▼参加方法 事前予約制

▼参加費 無料

▼定員 50人程度

▼申込み 氏名・年齢・性別・住所・電話番号を電話、FAXまたはEメールでお送りください。

▼締切 7月7日(水)まで

※応募者多数の場合は、町在住所者、申込順を優先とします。

※当日は、ご来場いただけない方のために、ZOOMによる同時配信をします。(講演会のみ)

《ZOOM申込》

事前予約制・先着100人まで。申込受付後、Eメールにて、IDとパスワードを送付します。

※雨天の場合、午後の現場実習は中止になる場合があります。

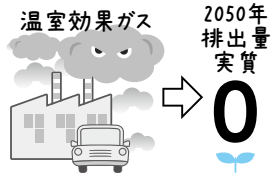
問 都市計画課 ☎内線239
 ① oubo-toshikeikaku@town.oiso.kanagawa.jp

今、脱炭素社会に向けて、私たちができることは?

問環境課 ☎(72)4438

脱炭素社会(カーボンニュートラル)って何?

地球温暖化の主な原因とされる温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを実現する社会のことです。我が国では、現在、年間で12億トンを超える温室効果ガスが排出されており、国は、2050年までに、温室効果ガスの排出量を全体として実質ゼロにすること、すなわちカーボンニュートラルをめざすこととしています。



今、私たちが出来ることは?

温室効果ガスは、日常生活に欠かすことのできない電気やガス、灯油、ガソリン等を使うことで排出されています。

私たちが、省エネ・節電に積極的に取り組むこと、さらには再生可能エネルギーを出るだけ活用することで、エネルギー起源の温室効果ガスの排出を減らすことになり、地球温暖化対策に貢献できると考えられます。



地球温暖化が進むとどうなるの?

温暖化が進むと、氷河の融解や、海面水位の変化、異常気象などが引き起こされ、陸上や海の生態系への影響のほか、食料生産や私達の健康にも大きな被害がおよぶ可能性があります。



町の条例にはそれぞれの役割を規定しています

町では自然豊かな環境と、安全で安心な持続可能な循環型地域社会を次世代に引き継ぐために、大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例を制定しています。

この条例には、町、町民、事業者、エネルギー事業者が取り組むそれぞれの役割を定めています。

